

シリーズ名：薬理学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
4.1	月	V	薬理学総論	松本 直樹	薬理学	1. 「薬」の定義 2. 薬理作用の基本（用量反応曲線・治療係数など） 3. 薬物動態学の基礎	授業タイトルに関する 内容について、 文献・教科書等を用いて、 概要・問題点を調べておくこと。
4.8	"	"	副交感神経作用薬	渡辺 実	実験動物 飼育管理 研究施設	1. 自律神経の拮抗的二重支配と受容体 2. 副交感神経作用薬と遮断薬 3. 筋弛緩薬	"
4.15	"	"	交感神経作用薬	武半 優子	薬理学	1. カテコラミンの受容体に対する作用 2. 交感神経作用薬と作用機序 3. 交感神経遮断薬と作用機序	"
4.22	"	"	受容体	飯利 太朗	薬理学	1. 受容体/レセプターの種類・定義 2. GPCRの作用と疾患	"
5.13	"	"	薬物動態学の基礎	松本 直樹	薬理学	1. ADME 2. 初回通過効果 3. 投与経路と薬物動態	"
5.20	"	"	薬物動態学・薬力学の基礎	"	"	1. 単回投与と反復投与の薬物動態学 2. 薬物相互作用 3. 薬物有害反応	"
5.27	"	"	臨床薬理学の序論	"	"	1. 臓器障害と薬物動態学・薬力学 2. 処方箋の基礎知識 3. 医薬品の開発	"